※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１３

令和５年度　保健体育科

教科	保健	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	現代高等保健体育ノート　（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

保健の授業では、みなさんの生活の身近にある課題を勉強します。現在及び将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に，的確な思考・判断に基づいて適切な意志決定を行い，自らの健康の管理や健康的な生活行動の選択及び健康的な社会環境づくりなどが実践できるようになりましょう。

２　学習の到達目標

個人生活及び社会生活における健康・安全について理解を深め、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。また、生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	個人生活及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	現代社会と健康	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復	a:さまざまな健康の考え方や、現在のわが国の健康問題について例をあげて説明できる。生活習慣病の種類と要因について説明できる。がんの一次予防と二次予防について例をあげて説明できる。 b:現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できる。 c: 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指すために、適切な意思決定や行動選択をとることができているか自らの生活を振り返り、改善するように努めている。	定期考査 小テスト 等	定期考査 小テスト 振り返りシート 授業内課題 等	振り返りシート 授業観察 等

※令和４年度以降入学生用

2	現代社会と健康	運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防	a:健康と運動、食事の関係について説明できる。適切な休養の取り方について説明できる。喫煙、飲酒による健康への影響を説明できる。薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策例をあげることができる。精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。感染症とはなにかについて説明できる。また、感染症、性感染症、エイズへの個人と社会の対策について例をあげて説明できる。 b: 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。 c:生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指すために、適切な意思決定や行動選択をとることができているか自らの生活を振り返り、改善するように努めている。	定期考査 小テスト 等	定期考査 小テスト 振り返りシート 授業内課題 等	振り返りシート 授業観察 等
	現代社会と健康	健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり	a:ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について説明できる。 b: 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。 c: 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指すために、適切な意思決定や行動選択をとることができているか自らの生活を振り返り、改善するように努めている。			

※令和４年度以降入学生用

3	健康を支える環境づくり	食品の安全性 食品衛生にかかわる活動 保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用 様々な保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	a:食品の安全性を確保するために，食品衛生法などの法律等が制定されており，様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや，食品の製造・加工・保存・流通など，各段階での適切な管理が重要であることについて，理解している。 ・我が国には，人々の健康を支えるための保健・医療サービスなどが提供されていること、保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて理解している。 ・疾病からの回復や悪化の防止には，個々の医薬品の特性を理解した上で，使用法に関する注意を守り，正しく使うことが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b: 食品の安全性と食品衛生に関わる活動について，習得した知識を自他の日常生活に適用して，健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。 ・医薬品の制度とその活用について，医薬品には承認制度があり，販売に規制が設けられていることと関連付けながら，生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。 c: 食品と健康、様々な保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト 等	定期考査 小テスト 振り返りシート 授業内課題 等	振り返りシート 授業観察 等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度